



①古川／新河岸川旧流路（景観）
旧新河岸川を古川といいます。今も残っている古川はここだけです。



②蛭沼陸田開拓碑（石造物）
昭和 25 年(1950)に蛭沼の畑地が陸田化し、開拓のあゆみとして建てられました。



③車地藏（石造物）
元禄 8 年(1695) 銘の延命地藏。祠の親柱には木製の念仏車がつけてあります。



④大澤家住宅表門／市指定（建造物）
江戸時代以降、代々名主を務めた旧家。慶応 2 年(1866)の武州一揆の傷跡が柱に残っています。



⑤水越門樋（建造物）
明治 37 年(1904)に旧新河岸川堤に設置された煉瓦造りの樋門です。



⑥難波田城公園／県指定（旧跡）
中世に南畑を本拠として活躍した難波田氏の居城で、県旧跡に指定されています。市指定の旧大澤家住宅・旧金子家住宅も移築されています。



⑦木曾目堤（史跡・景観）
旧新河岸川沿いの自然堤防です。



⑧南畑の田園風景（景観）



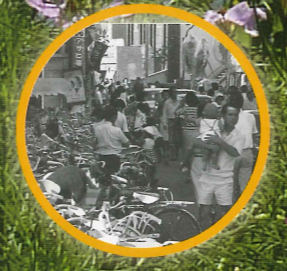
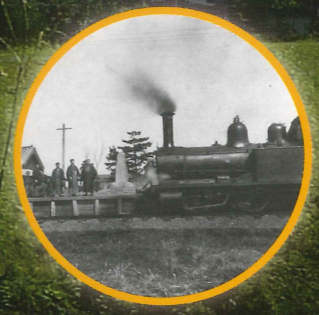
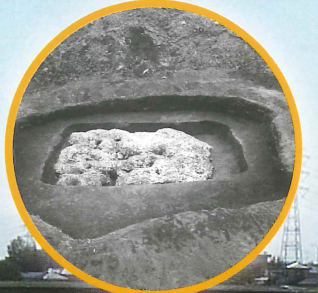
⑨水辺のカワセミ（生物）
きれいな水辺で見られる「水辺の宝石」と称される鳥。「市の鳥」に認定されています。



【編集・発行】
富士見市教育委員会生涯学習課
住所：〒 354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬 1873-1
TEL：049-251-2711

富士見の歴史・文化資産

～水が育んだ文化～



【鶴瀬エリア】～台地をつなぐ道と信仰～



①オトウカ山（史跡）
直径約20m、高さ約5mの方形の富士塚です。



②お舟山（旧跡／伝承）
榛名大権現が鉄の舟に乗り、この地についたという榛名神社創立にまつわる伝承があります。



③江戸道と庚申塔（史跡・石造物）
寛政4年（1792）に川越と江戸を結ぶ辻に建てられた庚申塔です。



④上沢百観音（石造物）
寛政10年（1798）～文久2年（1862）の間に大曾根家が3代にわたって、霊場を巡礼し、明治2年（1869）に造立したものです。



⑦渡戸の獅子舞／市指定（民俗）
8月28日の諏訪神社の祭礼に奉納。太田道灌の時代、獅子舞の奉納により疫病がおさまった伝説があります。



⑤護国寺大型板碑／市指定（石造物）
建長4年（1252）の紀年銘が刻まれ、入間東部地区では最も古いものです。



⑥ケヤキ／市指定（植物）
推定樹齢500年で、市内で最大級の大木です。



⑨下鶴馬氷川神社の境内林（景観）
小さな谷が入りこむ台地縁に残る斜面林は、昔ながらの風景を今に残しています。



⑧鶴瀬駅の碑（石造物）
大正3年（1914）の東上線鶴瀬駅の開設を記念して建てられた石碑です。

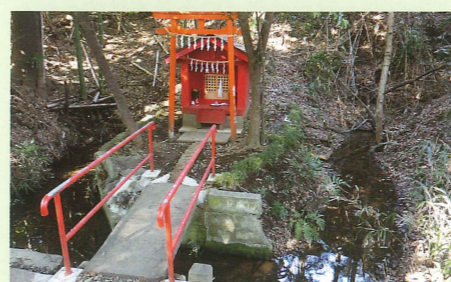
【水谷エリア】～湧水が育む歴史と文化～



①鶉河岸跡の水神（石造物）
江戸時代に船乗りの守り神として大杉神社を祀ったと言われています。



④打越式土器【左】（考古）
獣面装飾付土器【右】／県指定（考古）



⑦お井戸（湧水・景観）
鎌倉道の側にある湧水地で、祠には弁財天が祀られています。



⑩煉瓦造り橋脚（建造物）
東上線の敷設時に建造されました。



⑪水子のお囃子／市指定（民俗）
市内には5つのお囃子が伝えられ、その内の4つが水子地区にあります。7月の天王様の祭礼に奉納されます。



②大応寺鐘楼門（建造物）
水光山不動院と号する真言宗智山派の寺院で、建立年代は中世まで遡ると言われます。



⑤道しるべ／市指定（石造物）
天保15年（1844）に山下河岸の廻船問屋山田屋佐平治が建立。新河岸川舟運の隆盛を伝えています。



⑧鎌倉道（史跡）
鎌倉時代から伝わる古道です。



③水子貝塚公園／国指定（史跡）
縄文時代前期の環状集落跡で、平成6年に公園として整備されました。



⑥並木の地蔵尊（石造物）
享保8年（1723）に造立され、「江戸道」と「河岸道」が交差する交通の要所にあります。



⑨俱利伽羅不動明王塔（湧水・石造物）
嘉永元年（1848）に造立され、栗谷津公園の湧水地に建っています。

